

きゅうゆうせいほ ご ほう ゆうせいしゅじゅつ う かた 旧優生保護法による優生手術などを受けた方へ

- へいせい ねん がつ か ぎいんりつぽう きゅうゆうせいほ ご ほう いち じきん しきゅうほう い か ほう
平成31年4月24日に、議員立法により「旧優生保護法一時金支給法（以下「法」という）」が成立し、公布・施行されました。
- ほう ぜんぶん きゅうゆうせいほ ご ほう ちと おお かたがた せいしよく ふのう しゅじゅつ ほう
法の前文では、旧優生保護法の下、多くの方々が、生殖を不能にする手術・放射線の照射を受けることを強いられ、心身に多大な苦痛を受けてきたことに対して、我々は、それぞれの立場において、真摯に反省し、心から深くおわびする旨が述べられています。
- ほう ちと ゆうせいしゅじゅつ う かた いち じきん しきゅう
法に基づき、優生手術などを受けた方に一時金を支給いたします。

1. いち じきん たいしゅう かた 一時金の対象となる方について

い か
以下の①または②に該当する方で、現在、生存されている方が対象となります。

- ① しょうわ ねん がつ にち へいせい ねん がつ にち かん きゅうゆうせいほ ご ほう ちと
昭和23年9月11日から平成8年9月25日までの間に、旧優生保護法に基づき
ゆうせいしゅじゅつ う かた ぼたい ほ ご りゅう しゅじゅつ う かた のぞ
優生手術を受けた方（母体保護のみを理由として手術を受けた方は除きます）
- ② ①のほか、おな きかん せいしよく ふのう しゅじゅつ ほうしやせん しょうしや う かた
①のほか、同じ期間に生殖を不能にする手術または放射線の照射を受けた方
（母体保護や疾病の治療を目的とするなど、ゆうせいしそ ちと
あき しゅじゅつ う がた のぞ
明らかな手術などを 受けた方を除きます）

2. いち じきん せいきゅうてつづ 一時金の請求手続きについて

- す とどうふけん まどぐち せいきゅうしょ ていしゅつ ゆうそう ていしゅつ
お住まいの都道府県の窓口で請求書を提出してください（郵送による提出も可能です）。
 - せいきゅうしょ てんぶしよるい しんだんしょ りょうしゅうしょ ようしき こうせいろうどうしょう
請求書や添付書類（診断書・領収書）の様式は、厚生労働省のホームページに掲載しているほか、とどうふけん ホームページや窓口などでも入手できます。
 - せいきゅうきげん へいせい ねん がつ か ほうりつ しこう び ねんい ない
請求期限は、平成31年4月24日（法律の施行日）から5年以内です。
- ※ せいきゅうしょ きさいじこう てんぶしよるい うらめん らんくだ
請求書の記載事項や添付書類については裏面をご覧ください。

3. いち じきん きんがく 一時金の金額

- いち じきん がく まんえん いちりつ
一時金の額は、320万円（一律）です。
- しきゅうけつていご してい きんゆうきかん こうざ どりつぎょうせいほうじんふくしりょうきこう ふ こ
支給決定後、ご指定の金融機関の口座に独立行政法人福祉医療機構から振り込まれます。

4. お問い合わせ先

とうきょうときゅうゆうせいほ ごほういちしきんうけつけ そうだんまどぐち
＜東京都旧優生保護法一時金受付・相談窓口＞

でんわばんごう 電話番号 03-5320-4206 (専用) FAX 03-5388-1401

メールで S0410109@section.metro.tokyo.jp

うけつけじかん 受付時間 9:00～17:00 (月曜日から金曜日。土日祝日、年末年始を除く。)

しよざいち とうきょうと しんじゅくく にししんじゅく にちようめ ばん ごとうきょうとちようだい いちほんちようしゃ かいちゅうおう
所在地 東京都新宿区西新宿二丁目8番1号 東京都庁第一本庁舎27階中央
ふくしほけんきょく そうむぶきかくせいさくかない
福祉保健局総務部企画政策課内

こうせいろうどうしょう きゅうゆうせいほ ごほういちしきんそうだんまどぐち
＜厚生労働省 旧優生保護法一時金相談窓口＞

でんわばんごう 電話番号 03-3595-2575 FAX 03-3595-2753

メールで ichijikin@mhlw.go.jp

うけつけじかん 受付時間 9:30～18:00 (月曜日から金曜日。土日祝日、年末年始を除く。)

せいきゅうしょ きさいじこう てんぶしよるい うらめん
請求書の記載事項や添付書類について (ここから裏面)

●請求書には、様式に沿って、優生手術などを受けた医療機関の名称及び

しよざいち しゅじゅつ う ねんがっぴ じき しゅじゅつ う いた けいい
所在地、手術などを受けた年月日(時期)、手術などを受けるに至った経緯
などを記載して下さい。

●請求書を提出する際には、以下の資料を添付してください。

じゅうみんひょう うつ せいきゅうしゅ しめい じゅうしよまた きょしよ しょうめい しよるい
・住民票の写しなど請求者の氏名、住所又は居所を証明する書類

げんざい ゆうせいしゅじゅつ う さい しゅじゅつこん のこ
・現在、優生手術などを受けた際の手術痕が残っているかどうかについて の
い し しんだんしよ とく ゆうせいしゅじゅつ じっし きろく のこ ばあい いちじ
医師の診断書(特に優生手術などを実施した記録が残っていない場合には、一時
きんしきゅうにんてい じゅうよう しりよう か のう かぎ せいきゅうしよ
金支給認定にあたっての重要な資料になりますので、可能な限り請求書とあわ
せて提出してください。)

しんりてき おお いりようきかん じゅしん ごんなん ばあい てんぶ しょうりやく
※心理的ストレスが大きいなど医療機関の受診が困難な場合には、添付を省略
することが可能となりますので、都道府県の窓口にご相談ください。

じょうき しんだんしよ さくせい よう ひよう きさい りようしゅうしよ いちじきん しきゅう みと
・上記の診断書の作成に要する費用が記載された領収書など(一時金の支給が認
められた場合、診断書作成費用が支給されます)

いちじきん ふりこ きほう きんゆうきかん めいしゅうおよ こうざばんごう あき
・一時金の振込みを希望する金融機関の名称及び口座番号を明らかにすることが
できる書類(通帳やキャッシュカードの写しなど)

た せいきゅう かか じじつ しょうめい しりよう れい しょうがいしやてちよう こせきとうほん かんけいしゅ
・その他請求に係る事実を証明する資料(例: 障害者手帳、戸籍謄本、関係者の
ちんじゅつしよ とどうふけん いりようきかんとく にゅうしゅ ゆうせいしゅじゅつとう じっし かん しよるい
陳述書、都道府県や医療機関等から入手した優生手術等の実施に関する書類
など)